

○総合計画見直しと見直し素案審議

町では、社会情勢の変化等に柔軟に対応し、効果的な町政運営を行うため、新たに実施する事業や内容を変更する事業などについて、毎年度、進捗管理計画を見直すこととしていきます。その見直し素案について、下川町総合計画審議会で審議を行い、昨年12月27日に筒淵忠雄会長から町長へ答申されましたので、主な意見を紹介します。

なお、町のホームページから、総合計画見直しに係る審議資料や答申書をご覧になれます。

トッパーページ↓更新情報  
 ↓第6期下川町総合計画

○総合計画とは

総合計画は、町の目指す将来像など（基本構想）を明らかにするとともに、その基本構想の実現に向け取り組むべき施策（基本計画）や具体的な事業（進捗管理計画）を位置付けた計画で、町政運営を行っていくための基本となる計画です。



総合計画審議会からの主な意見

※紙面の都合により、答申書から一部抜粋し、表現を変えているところがあります。



◎福祉・教育部会

「医療機器整備等事業」

医療機器などを整備することは、受診者数の増加や町民の安心につながるかと考えられるので、性能などに配慮し進めていただきたいと思えます。町の財政状況にも十分配慮して検討にあたっていただきたいと思えます。

また、平成26年度に患者のリフレッシュを目的とし中庭が整備されたことから、整備されたものをしっかりと活用して、町民が和やかに医療を受け

「保健推進委員活動事業」

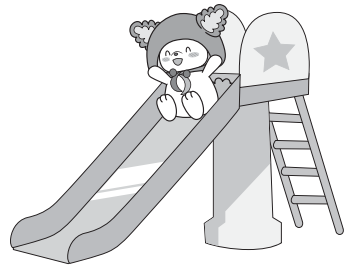
保健推進委員を担える人が減少する中、現状を見極めて保健推進委員の廃止を決定されたことを評価します。廃止にあたっては、健康診断の受診率に影響が生じることがないよう配慮していただきたいと思えます。また、それにより、同業務を担う保健師の負担にも配慮し進めていただきたいと思えます。

◎快適環境・地域づくり部会

「快適住まいづくり促進事業」

今年度から予算上限額を設定したことから、予算額が一杯になってしまい申請出来ない方がいたなど、不公平な状況になったことから、申請時期などによって差が生じないようにしていただきたいと思えます。

また、今年度予定している支援内容の見直しについては、現在検討段階ではありますが、地域材を下川町内から産出された木材に限定することを検討しているとのことで、下川町産材に限定することで利用しづらい制度にならないようにしていただくとともに、太陽光設備への支援については、利用者が少ない状況ではありますが、廃止について



ては、SDGs 未来都市として再生可能エネルギーの普及という視点も踏まえて検討していただきたいと思えます。

「公園整備事業」

子どもなど利用者が少ない公園があることから、声掛けをしながら利用しようとしている町民グループもありますが、それら町民と協力しながら、また、課を超えた情報交換を進めながら、利活用に向けた取り組みを進めていただきたいと思います。

◎産業経済部会

「宿泊研修交流施設管理事業」

宿泊研修交流施設（結いの森）については、収入面の改善も必要かと思えますが、今一度、支出面の見直し、経営研究をしていただき、管理経費の削減検討・検証を進め、黒字への転換を進められるよう改善していただきたいと思えます。

また、精度の高い収支計画を立て、より効果的な運営につなげていただきたいと思えます。

「まちおこしセンター管理事業」

まちおこしセンター（コモレビ）については、まちおこしセンターとしてあるべき姿を見定め、それに向けた効果的な施



策を打ち出し、課題解決を進めていただきたいと思えます。

今後のあり方を検討する際には、実際の利用者（学生など）の意見も聞き、より良い形での施設運営に繋げていただきたいです。

また、まちおこしセンター内での特産品販売を望む声もあり、視察などの際に利用も考えられまので、前向きに検討いただきたいと思います。